

嘘の申請を続け 休業補償およそ1000万円をだまし取り書類送検

2016年6月14日(火)

4年間にわたって嘘の申請を続け、労災保険の休業補償およそ1000万円をだまし取った疑いで、札幌市に住む54歳のトラック運転手の男が書類送検されました。男は1983年に、当時働いていた夕張の炭鉱で左ひざにケガを負い、仕事ができなくなったとして休業補償を正規に受け取っていました。その後2009年8月にケガが再発しましたが、実際には仕事をしていたにもかかわらず、仕事ができなくなったと嘘の申請を行い、労災保険の休業補償を受け取っていたものです。男は「借金の返済のためだった」と容疑を認めています。

事故を起こしてから、後悔してどうする？

「なれた道・なれた仕事」 に注意！

交差点 信号が、「青」に変わった！ チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

バックは、『カメが歩くスピードの気持ちで！』

車間距離を十分に！ 追突を未然に防止

子供・高齢者は、動く赤信号！

守ろう！ 子供と高齢者！

危険ドラッグ運転に・・・同乗していた男に懲役6年 危険ドラッグを吸って運転していた少年と・・・同様に責任は重い

2016.6.14 07:04

長野県の県道で平成26年5月、危険ドラッグを吸って無免許で車を運転した当時19歳の元少年(21)＝危険運転致死傷罪などで服役中＝の運転する乗用車が対向車に次々に衝突して3人が死傷した事故で、元少年が正常な運転が困難と知りながら車を運転させた同乗者の無職の男性被告(23)の裁判員裁判判決公判が13日、長野地裁であり、懲役6年(求刑8年)を言い渡した。判決で裁判長は「危険ドラッグの危険性を理解していたにもかかわらず、安易に元少年に運転を依頼して同乗し続けた被告の責任は、元少年と同様に重い」と指摘した。

酒気帯び、ひき逃げ疑い 男を逮捕 交差点、右折時・・・対向の直進車と衝突 けがを負わせ、そのまま逃げる

2016年6月13日(月)13時30分

滋賀県警は12日、自動車運転処罰法違反(過失傷害)と道交法違反(ひき逃げ、酒気帯び運転)の疑いで、配管工の男(49)を逮捕した。逮捕容疑は11日午後10時10分ごろ、滋賀県で、酒気帯び状態で軽ワゴン車を運転し、右折する際に対向の軽乗用車と衝突。運転していた専門学校生の女性(21)と、同乗の女子大学生2人の首に軽傷を負わせ、そのまま逃げた疑い。同署によると、男は事故後に車を現場に置いて走り去り、約15分後に戻ってきたという。

酒気帯び運転容疑で配送業の男性逮捕・・・信号待ち車に追突

◇酒気帯び運転・・・大半が、信号待ち車に追突◇

◇信号待ちで、停車している場合は・・・後方からの車にも注意しましょう◇

2016年6月12日 10:31

警察は12日、酒気帯び運転の疑いで、配送業の男性(58)を現行犯逮捕した。逮捕容疑は同日午前7時ごろ、栃木県の国道で、酒気を帯びて乗用車を運転した疑い。信号待ちの乗用車に追突する事故を起こした。

札幌 当て逃げしたとみられる車が炎上 酒気帯び運転で男逮捕

2016年6月9日(木)15時35分

9日午前4時すぎ、札幌市白石区で煙を出しながら走っている車を警察がを見つけ、停止させたが、車は激しく炎上した。けが人は、いなかった。運転手の呼気からは、基準値の3倍を超えるアルコールが検出され、警察は塗装業の男性容疑者(42)を酒気帯び運転の現行犯で逮捕した。容疑者は、酒を飲んだことを認めているという。警察は当時、近くの街路灯に当て逃げした車を探していて、容疑者の車が当て逃げした可能性があるとみて調べている。

雨降り、はみ出し・・・正面衝突 大学生1人重体、2人重傷

◇デイ・ライトで知らせよう・・・自分の存在、はみ出し、正面衝突事故防止◇

2016年6月13日(月)12時59分

12日午後8時15分ごろ、愛媛県の国道で、パート従業員女性(42)運転の乗用車と、男子大学生(19)運転の乗用車が正面衝突した。男子学生の車には同乗部の男女4人が同乗しており、右後部座席の女性(18)が頭を強く打ち意識不明の重体となり、2人が重傷、2人が軽傷を負った。パートの女性は軽傷だった。現場は、パートの女性側からみて左カーブを曲がりきった直後の片側1車線の直線。警察は、パートの女性の車が対向車線にはみ出したとみて調べている。事故当時は雨が降っていた。大学生5人は遊びに行った帰り、パートの女性は買い物帰りだったという。